

# きずな便り

～きずな活動報告～



NO. 3 R3.12.20 発行

私たちの有償ボランティア活動に、ご理解・ご支援頂きまして、誠にありがとうございます。  
多くの皆さまの善意の後押しにより、活動が広まってきております。ここに感謝の意を込めて活動報告をさせていただきます。

## 利用・登録状況

きずな利用者 (利用会員)		きずなサポーター (支援ボランティア)	きずな応援団 (賛助会員)
【在宅高齢者等】	登録 17 名	57 名登録中	R3 度会員
【地域・サロン活動】	土肥小土肥地域づくり協議会 ロコトレOB会 さくら会 ロコトレOB会 コスモス会 ロコトレOB会 菜の花会		【団体】 4 団体 【個人】 21 名
【老人施設】	土肥ホーム		総額 170,000 円

\*令和3年12月20日現在

## 主な活動の経過

感染拡大状況を警戒しながら、今年度の活動計画に基づいて、下記の活動をしてきました。

6月23日 きずなサポーター定例会議 (R2 年度活動報告および R3 年度活動計画を共有)

7月28日 きずな地域相談員定例会議 (PR グッズが完成(車両マグネット・店舗用シール・パンフレット完成。))

7月28日 理事会 (ありがとう規程変更。きずな主催のイベントや他団体の会議等に参加したボランティア活動に対してもありがとう券を活用できるようにする)

\*8月および9月の定例会議は緊急事態宣言を受け会議自粛。書面にて活動を共有する。

10月25日 きずなサポーター定例会 (オリジナルT シャツ、トートバック完成・配布)

11月24日 きずな地域相談員定例会議 (ワクチン予約支援会の企画検討)



## 「竹トンボ絆」 から「きずな」へ繋いだ NPO 法人設立の夢、現実に・・・

私たち地域は、少子高齢化社会が進む中であって、核家族化の進行により、子供たちは都会で暮らしている世帯が非常に多く、一人暮らしの高齢者、老人世帯が急速に増加しています。

スマートフォンやインターネット等は、情報伝達の利便性に優れている半面、声から活字（メール・ライン）になることで顔を合わせての会話が減少し、孤立化が進むことが気になります。

NPO 法人に興味があった事から「竹トンボ絆」の設立を夢見ており、地域での NPO 法人の立ち上げ準備に声がかかった時は、設立に向け少しでも「竹トンボ絆」での知識が設立の役に立てばと思い参加しました。「土肥の暮らしを支え合う会 きずな」の名前は「竹トンボ絆」から引き継いだものです。

ゴミ出し、買い物代行、庭の草刈り、剪定、憩いの場、居場所等現在は、地域で支え合い助け合い、誰でも気兼ねなく自由に利用できる「土肥の暮らしを支え合う会 きずな」で地域相談員として、サポーターとして、利用者のニーズに合わせて活動し1年半になります。

今年度は、病院への通院、入退院の送迎、買い物同行、シニアクラブ会議への参加、大会の送迎等、一人暮らし高齢者、高齢世帯が必要とする移送支援サービスを開始すべく、保険の加入や資格取得に向け勉強し、送迎ボランティア「きずな号」をいち早く走らせたいと願っています。また、世代交流事業 地域交流事業、環境美化活動等も研修会で学びたいと考えています。



NPO法人「土肥の暮らしを支え合う会 きずな」 副理事長 松井宗作

## 地域・サロン活動でありがとう券の仕組みが大活躍♪

土肥小土肥地域づくり協議会の依頼により、土肥集学校で百歳体操のサポートが再開しました。また、休耕農地の草刈りや林道のパトロールなどのボランティア活動を、サポーター登録をすることで有償ボランティア活動に繋がっています。

更に、3箇所の住民同士によるロコトレ OB 会活動では、体操の進行や世話役等のボランティア活動に対して、サポーター登録をしてもらうことで、ありがとう券を活用されています。



### 土肥・小土肥地域づくり協議会

休耕農地の草刈りや土肥集学校での百歳体操をサポート



### ロコトレ OB 会

3箇所で居場所として活動中。ロコトレ体操の進行や準備や備品管理などの運営をサポート